

2026年6月11日

国内初、欧州・アジア主体の国際アライアンス『BOOST』に加盟 —成田空港、AIで旅客手荷物ハンドリングを革新—

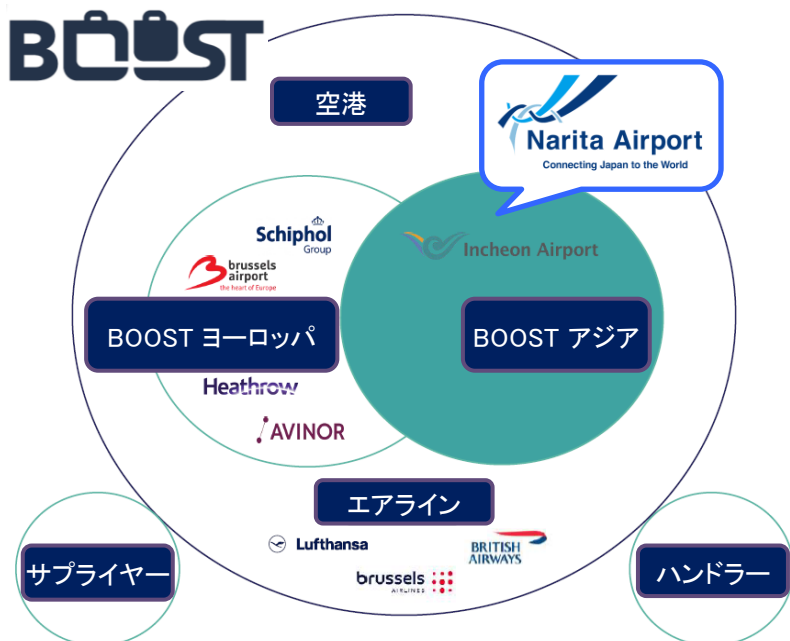
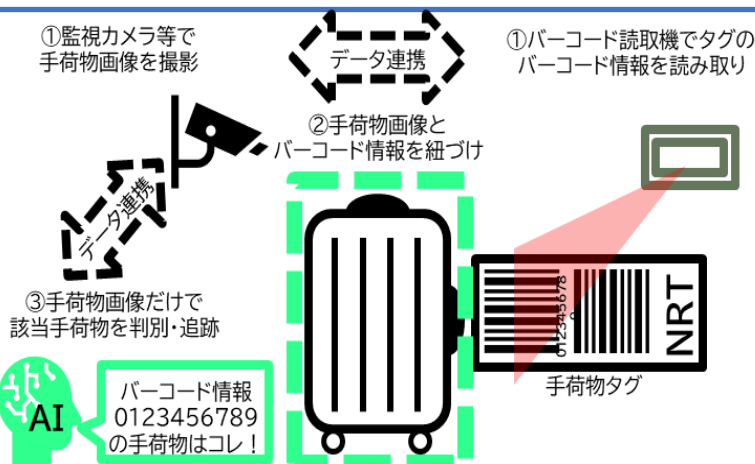
成田国際空港(株)は、6月10日、アムステルダム・スキポールやソウル・仁川をはじめとする欧州・アジアの主要空港が参画する、旅客手荷物ハンドリング分野の国際イノベーションアライアンス「BOOST（ブースト）※」に加盟しました。

BOOSTは、手荷物ハンドリングの自動化・効率化を目指し、空港が主導して実証・開発を進める国際的な取り組みです。加盟空港がそれぞれ役割を分担して実証を行い、その成果を共有することで、従来は個別空港では実現が難しかった課題解決を加速します。NAAでは、AI画像分析技術を用いて受託手荷物の持ち主を特定する実証を進めており、このアライアンスを通じて実装に向け取り組んでまいります。

NAAにおける取組

目標：手荷物管理の高度化

- ◆AI画像解析技術を用いて手荷物画像から手荷物を特定
- ◆手荷物の紛失・遅延に対する 抑止力強化
- ◆手荷物の仕分けに要する業務負荷の低減



加盟発表の様子

BOOSTメンバーとパートナー

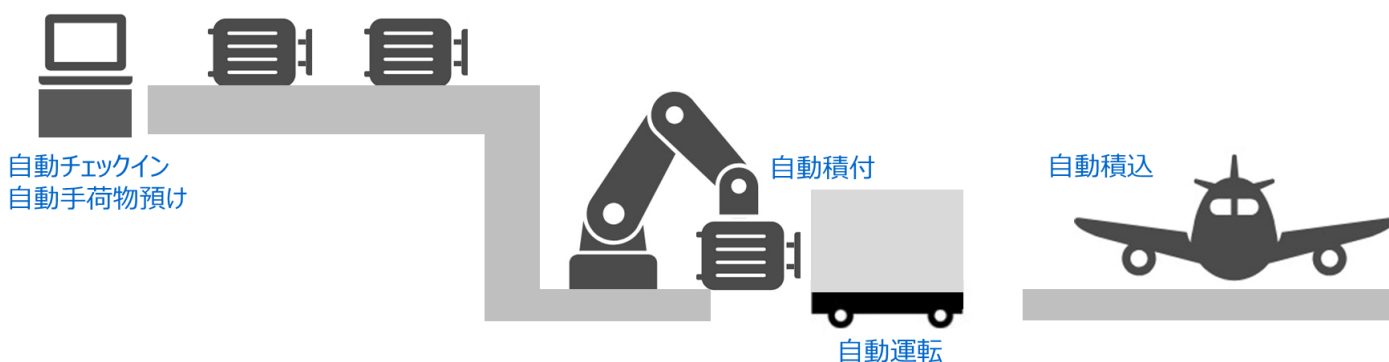
※BOOSTとは、2024年6月にスキポール空港、仁川空港、ノルウェー・アビノール空港会社が連携して開始した手荷物ハンドリング分野におけるイノベーションプログラム。ロボットと自動化技術を活用することで、手荷物作業員の肉体労働負担を軽減し、運用効率を向上し、共に手荷物ハンドリングの未来を創造することを目指す。

その後、ブリュッセル空港、ヒースロー空港が加入し、今回成田空港が加盟したことで、空港会社としては6社目となる。BOOSTでは、関係する航空会社やサプライヤーやハンドリング会社と連携して取り組んでいく。

BOOST ホームページ

<https://www.boostbaggage.com/>

《将来の手荷物ハンドリング自動化のイメージ》



手荷物積付ロボット



自動運転車両

画像出典：BOOST ホームページ